

リケンテクノス株式会社

2017年3月期

決算説明会

2017年5月25日

- 決 算 概 要
- 事 業 の 概 況
- 今 後 の 展 開

決算概要



単位：百万円、円

ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

科目	2017年 3月期	2016年 3月期	前期比	増減率	2017年3月期 業績予想	達成率
売上高	88,300	90,589	▲2,288	▲2.5%	93,000	94.9%
売上総利益	17,375	16,149	+1,226	+7.6%	—	—
営業利益	5,862	5,084	+777	+15.3%	5,500	106.6%
経常利益	5,834	4,931	+903	+18.3%	5,500	106.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,716	2,482	+234	+9.5%	2,600	104.5%
1株当り利益	45.85	41.41	+4.44	+10.7%	43.36	105.7%

※ 過去最高

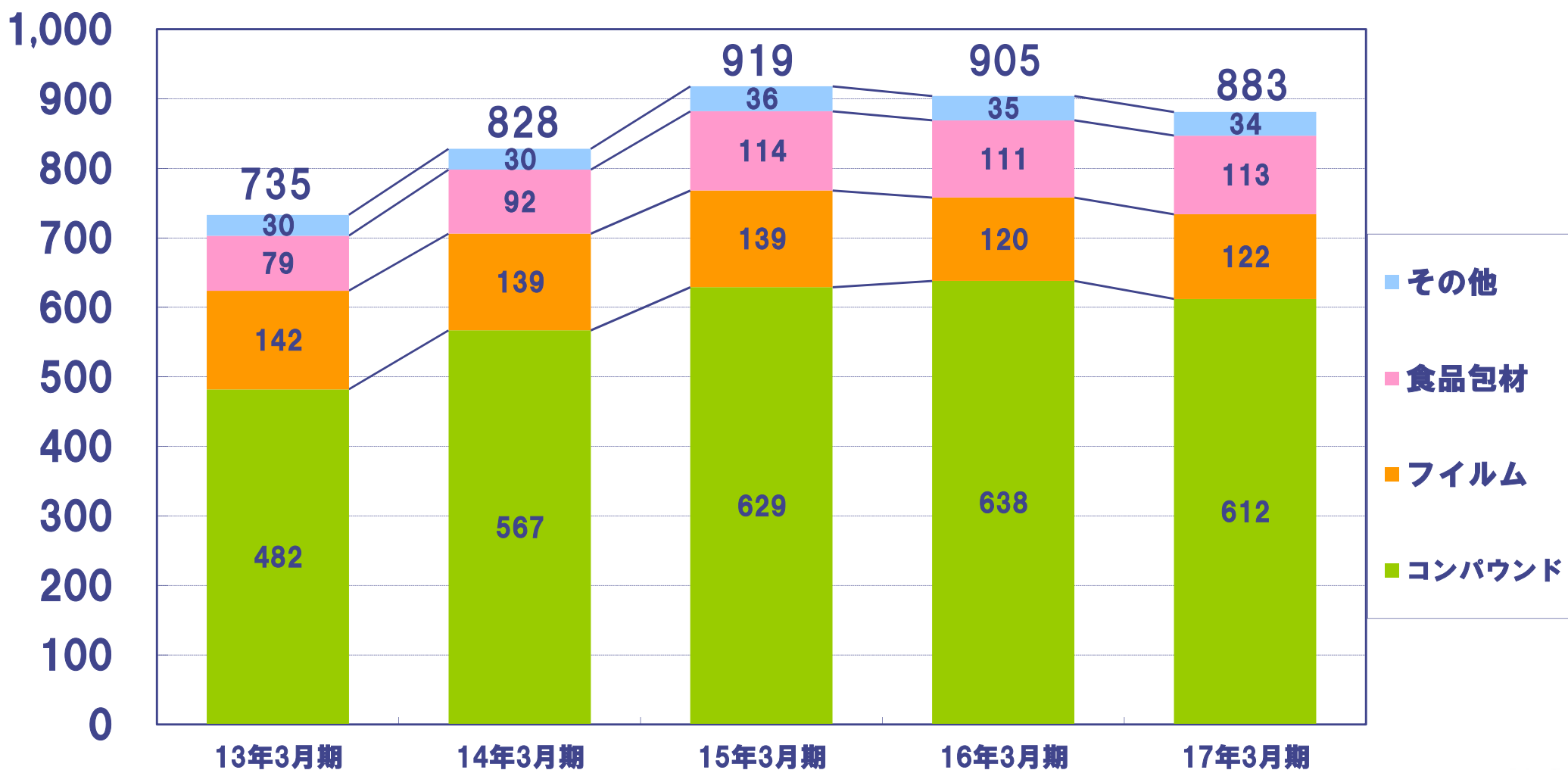
セグメント別売上高推移



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

2017年3月期 売上高 883億円
前期比 ▲2,288百万円減 (▲2.5%減)

単位：億円



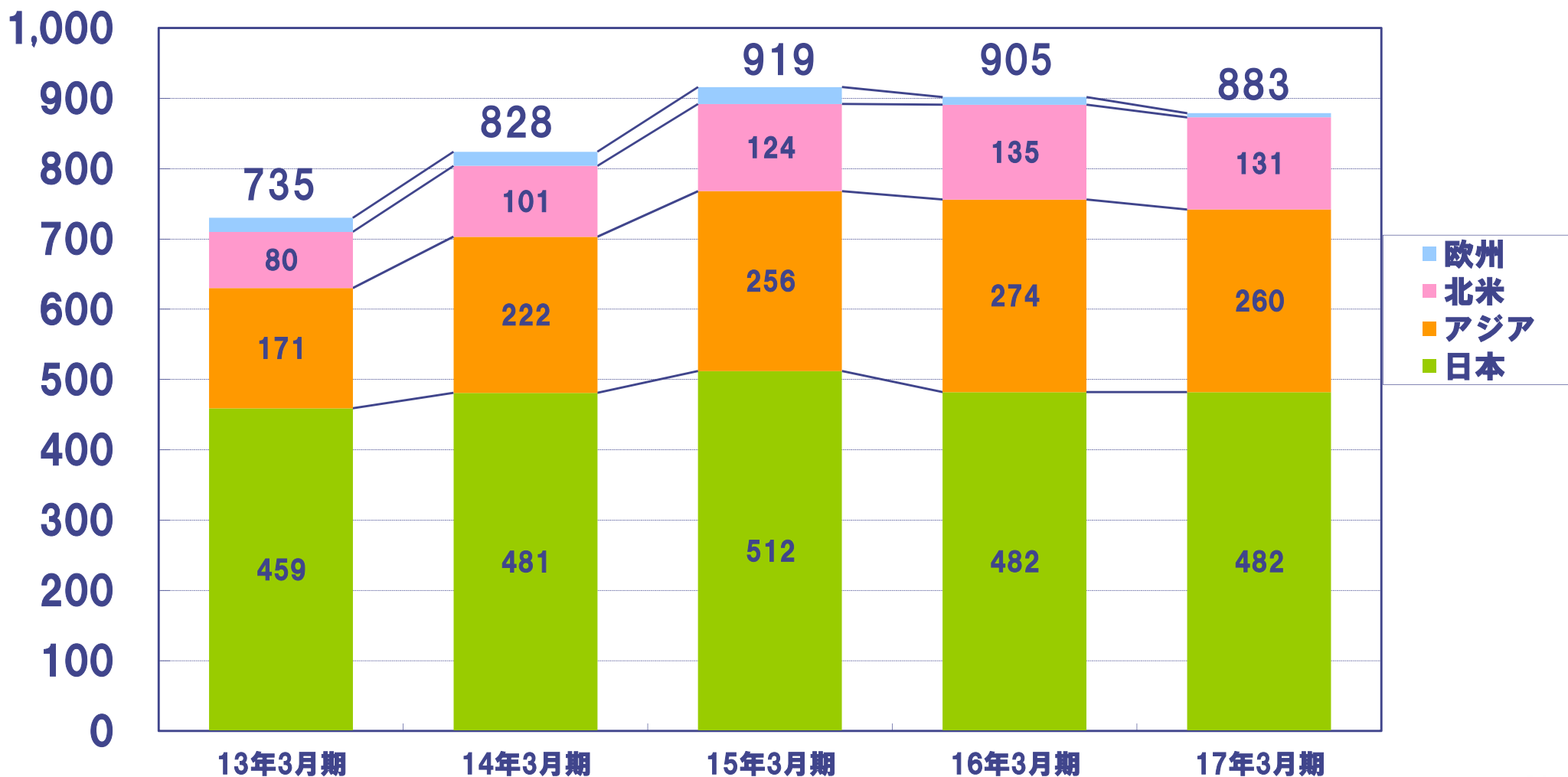
地域別売上高推移



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

2017年3月期 売上高 883億円
前期比 ▲2,288百万円減 (▲2.5%減)

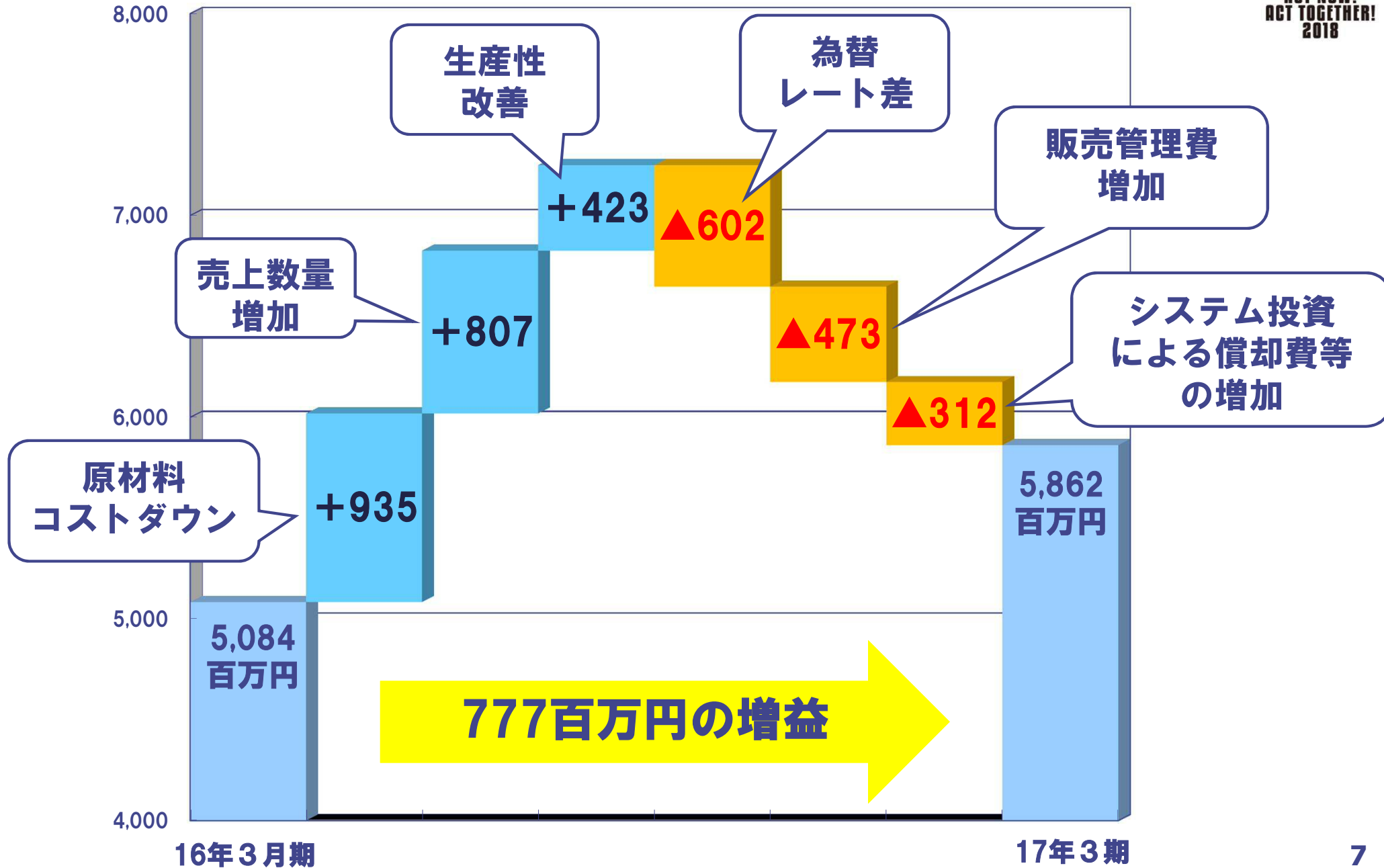
単位：億円



営業利益の前期比 増減要因分析



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



連結貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

資産合計

88,345百万円

前期末比 4,188百万円増

流動資産 50,817百万円

固定資産 37,527百万円

負債合計

39,149 百万円

前期末比 1,738百万円増

純資産合計

49,196 百万円

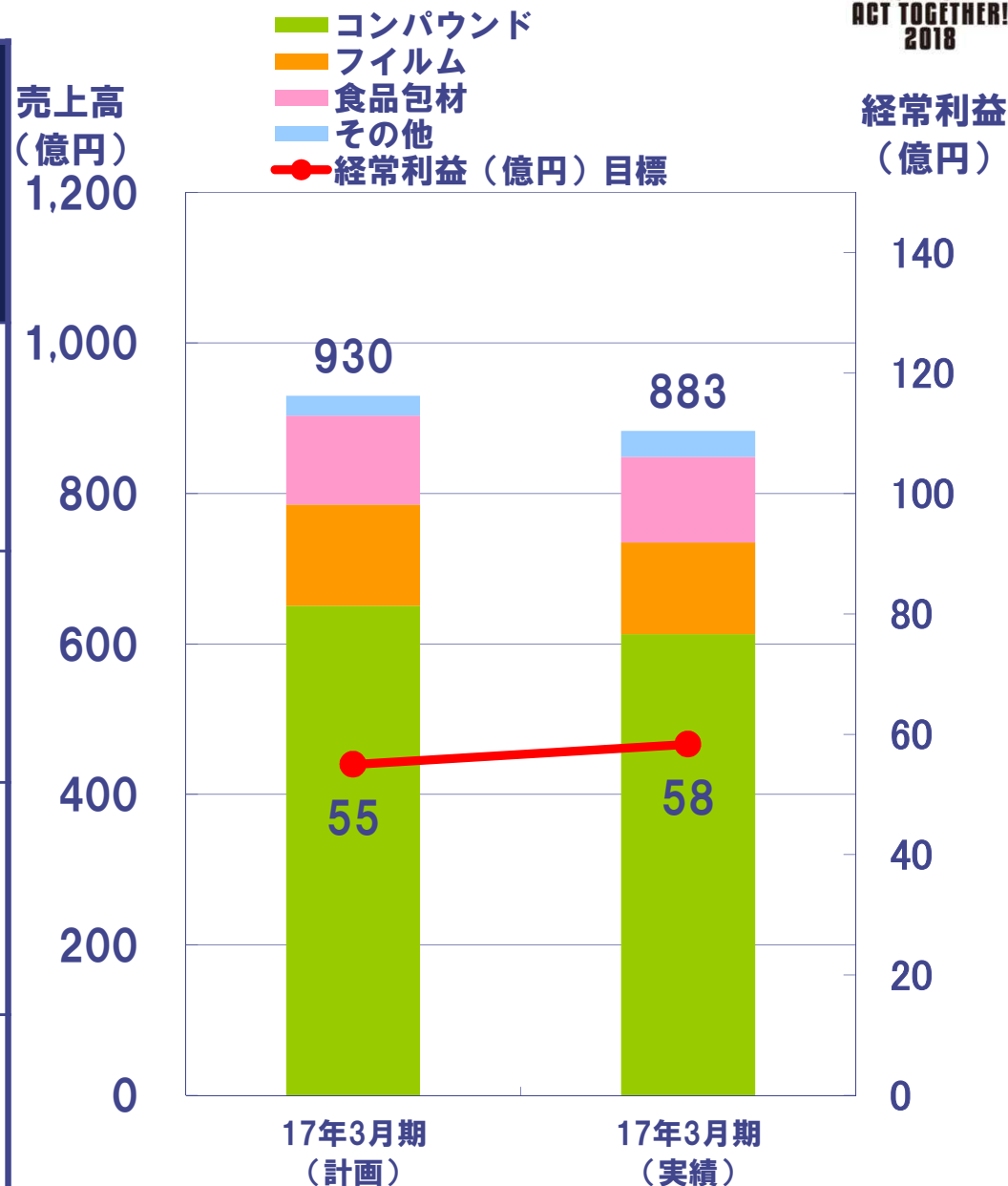
前期末比 2,449百万円増

	当期	前期比
営業C F	6,560	▲265
投資C F	▲4,248	+2,358
財務C F	▲1,070	▲543
増減額	925	+1,462
期末残高	14,369	+925



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

連結ベース	2017年3月期 (計画)	2017年3月期 (実績)
売上高	930億円	883億円
営業利益	55億円	58億円
経常利益	55億円	58億円
当期純利益	26億円	27億円





	中計目標	2017年3月期実績	
売上高	930億円	883億円	未達
売上数量	前期比 11%UP	前期比 11%UP	達成
			
	中計想定	2017年3月期実績	
為替	¥110/US\$	¥110/US\$	想定内
国産ナフサ	¥35,000	¥31,000	下落

ROS

売上高営業利益率

最終年度目標

7%

2017年3月期

6.6%

2016年3月期

5.6%

ROA

総資産経常利益率

最終年度目標

10%

2017年3月期

6.8%

2016年3月期

5.8%

ROE

株主資本純利益率

最終年度目標

8%

2017年3月期

6.6%

2016年3月期

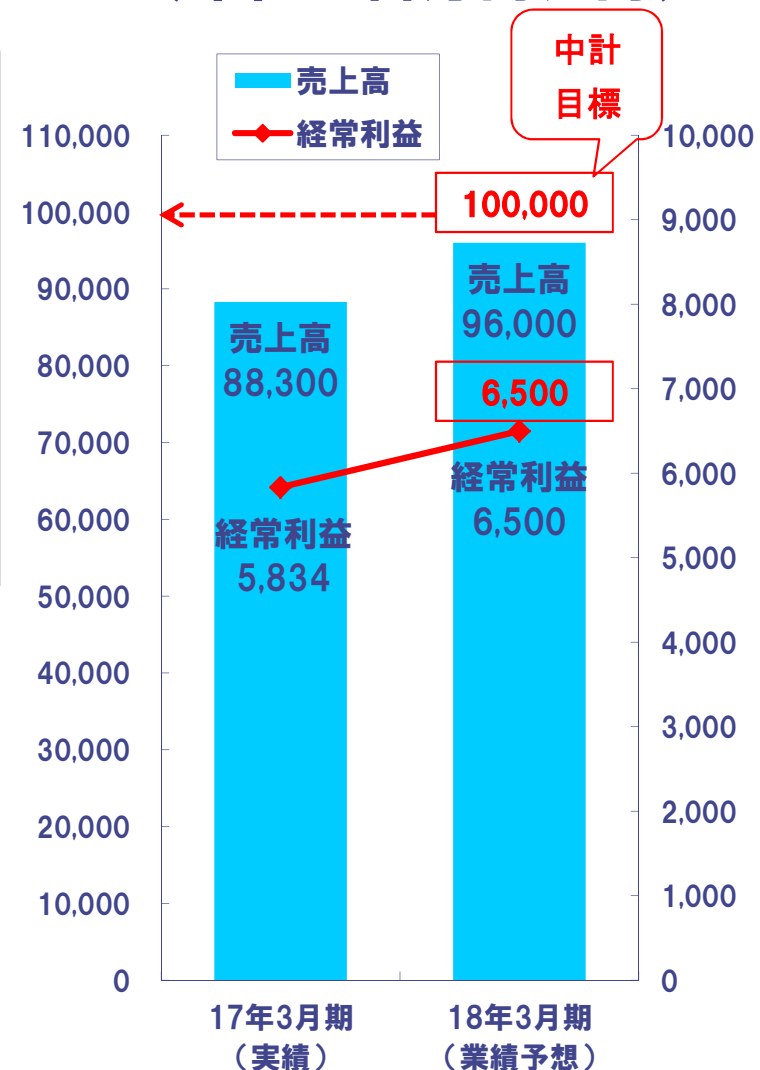
6.2%



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

科目	2017年3月期 実績	2018年3月期 業績予想	伸び率
売上高	88,300	96,000	+8.7%
営業利益	5,862	6,500	+10.9%
経常利益	5,834	6,500	+11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,716	3,000	+10.4%
1株当たり利益	45.85	51.69	+12.7%

(単位：百万円、円)



【業績予想のポイント】

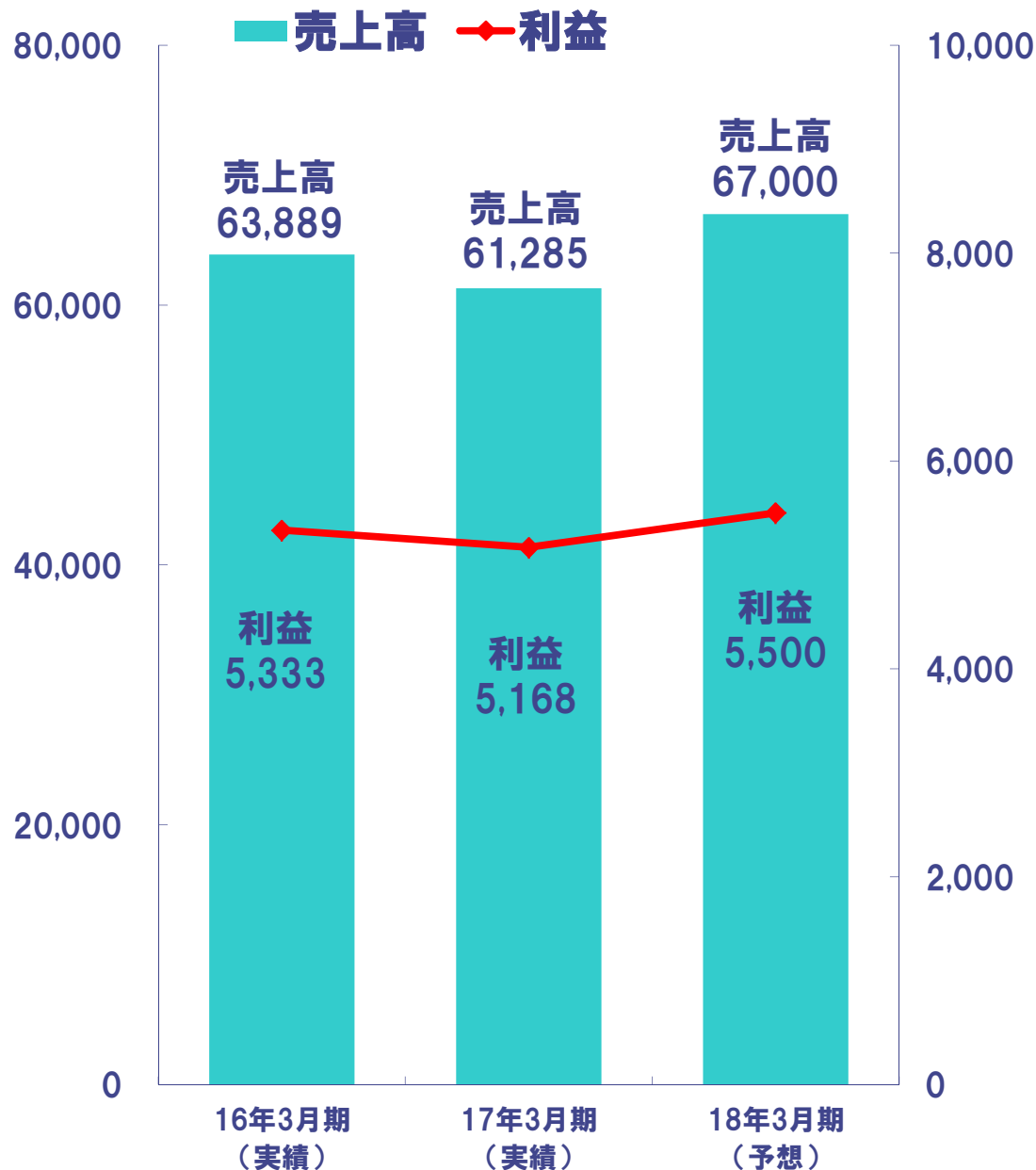
- アジアと北米で投資した設備を活用し、自動車、電線及び医療市場での売上拡大を見込む
- 原材料価格の値上げに伴う製品価格の適正化を行う
- 光学分野での量産案件の獲得増による増収を見込む

事業の概況



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

単位：百万円



2017年3月期

2,604百万円減収

165百万円減益

前期比4.1%減

前期比3.1%減

- 国内外共に原材料価格下落に伴う製品価格調整の影響あり
- 国内は、医療及び食品市場で売上を伸ばすが建材及び電線市場で回復せず減収
- 海外は、米国・アジアの自動車及び電線市場で堅調に推移も、為替の影響もあり減収

2018年3月期 業績予想

5,715百万円増収

332百万円増益

前期比9.3%増

前期比6.4%増

- 投資した設備を活用しアジアと北米での売上拡大を見込む
- 原材料価格の値上げに伴う製品価格の適正化を行う
- 数量増と生産性向上による増益を見込む 14



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



2017年3月期

199百万円増収

471百万円赤字幅削減

前期比1.7%増

- 国内は、高級壁装用フィルム及び住宅リフォーム需要が好調で増収増益
- 海外は、後半に回復傾向がみられるが減収
- 光学分野では、量産案件獲得で損失縮小するも、開発投資継続により黒字化に至らず

2018年3月期 業績予想

1,295百万円増収

304百万円の改善

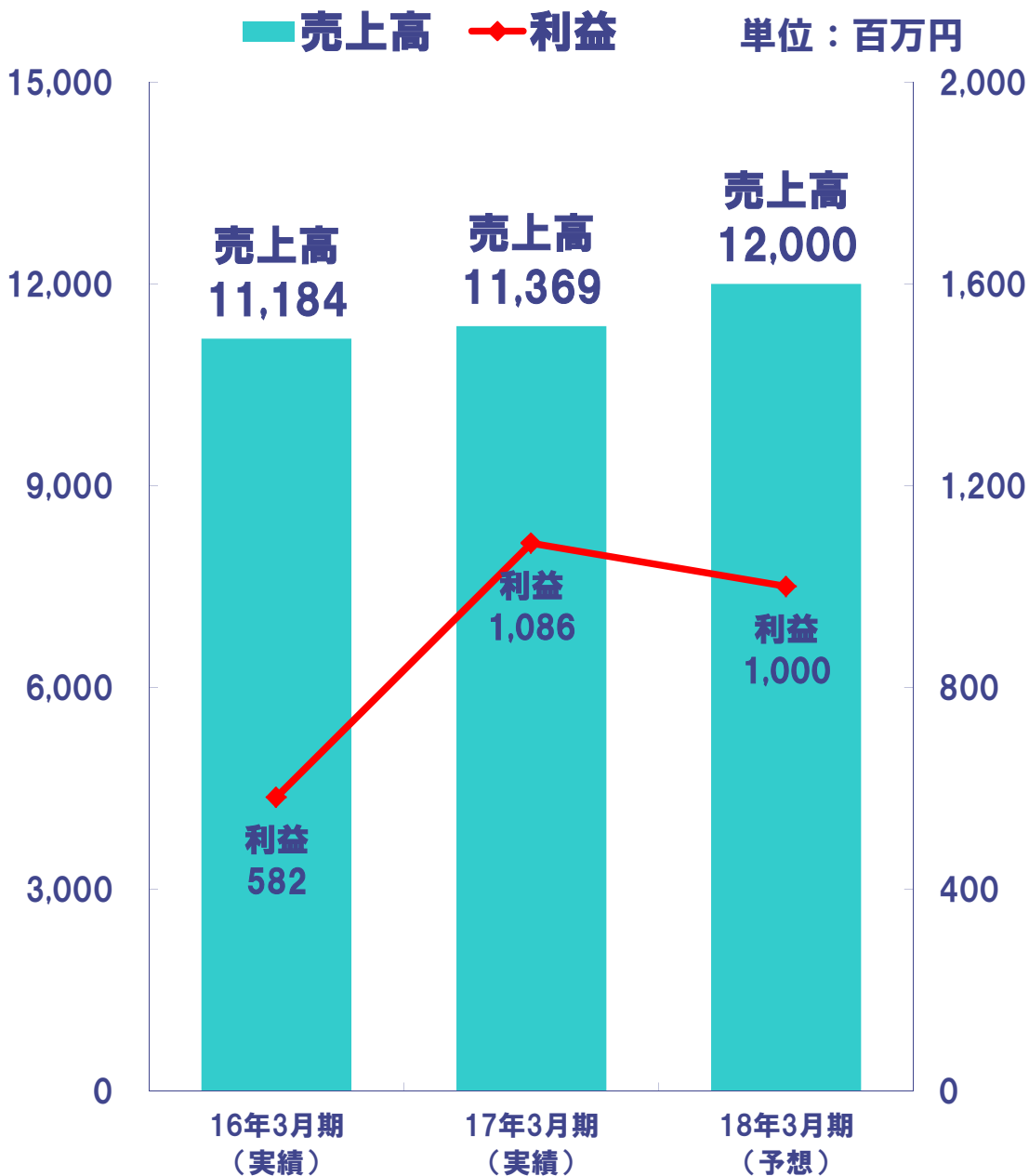
前期比10.6%増

フィルム事業黒字化

- 国内での住宅内装用フィルムの売上拡大及び家電及び車両用の拡販案件獲得による増収
- 光学分野で、更なる量産案件獲得で増収
- 全体として黒字化を見込む



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



2017年3月期

185百万円増収

前期比1.7%増

504百万円増益

前期比86.6%増

- 国内販売は塩ビへの回帰が進み、業務用塩ビラップが好調に推移。
また、競合他社の事業撤退により小巻ラップの売上も増加。
- 国内利益は原材料価格の低下、生産性の改善、仕入商品の採算是正等により増益。

2018年3月期 業績予想

631百万円増収

前期比5.5%増

86百万円減益

前期比7.9%減

- 国内は塩ビ化の更なる推進、製造コスト及び販売管理費の削減を進める。
- 中国は品質優位性を武器に拡販を図る。

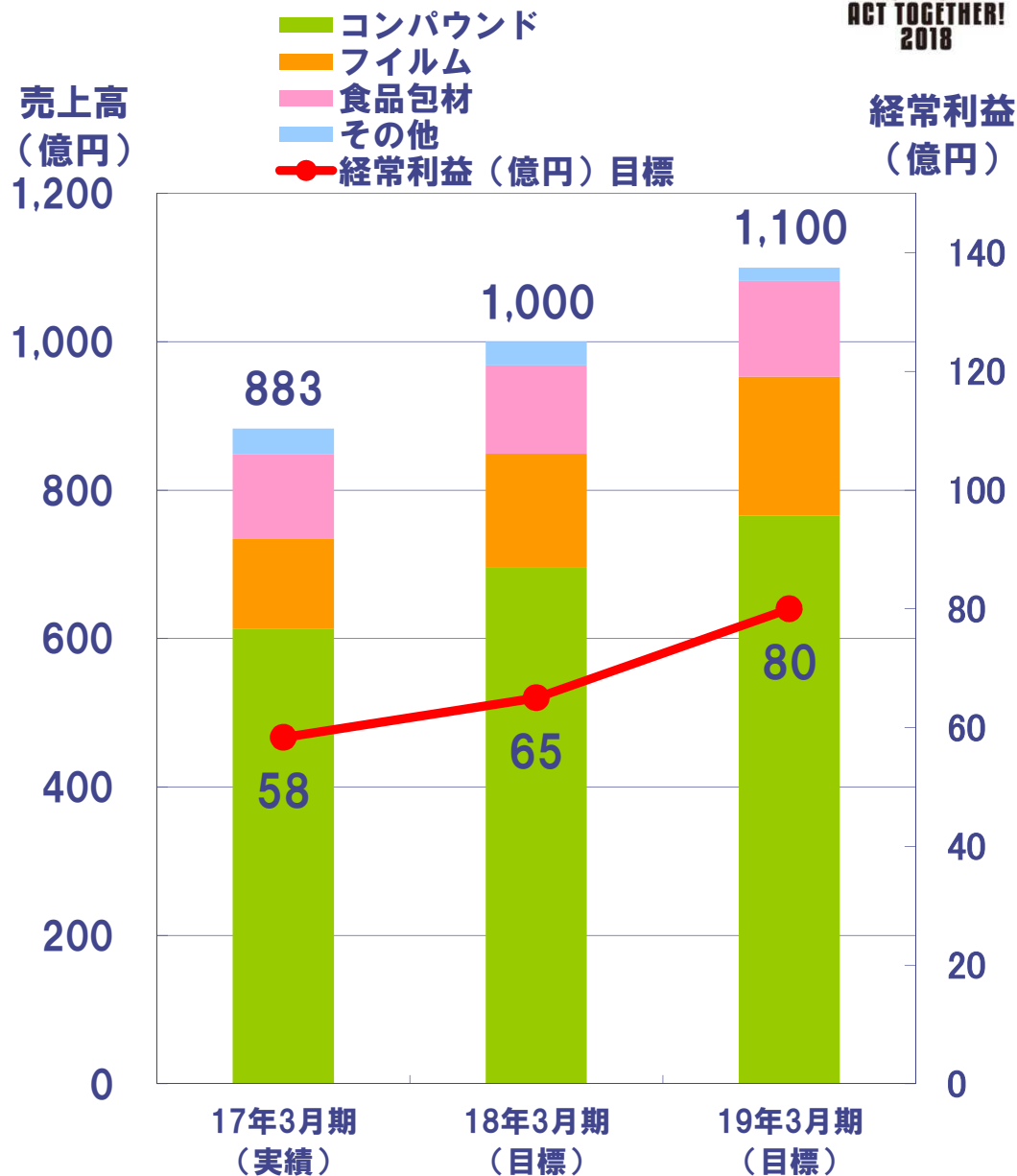
今後の展開

3カ年中期経営計画



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

連結 ベース	2017年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (計画最終年度)
売上高	883億円	1,100億円
営業利益	58億円	80億円
経常利益	58億円	80億円
当期純利益	27億円	45億円



RIKEN AMERICAS CORP.

北米に、営業・マーケティング等の機能を有する統括会社として、RIKEN AMERICAS CORP.を2017年4月1日に設立

目的

- 2工場の資源の効率活用
- 営業の一極集中による効率化
- 北米・中南米への拡販と展開
- 更なる拡大への基盤作り



増設

RIKEN (THAILAND) CO., LTD.
2018年11月 稼働予定（塩ビ）



新設

上海理研塑料有限公司
2017年4月 華南事務所

増設

RIKEN ELASTOMERS
(THAILAND) CO., LTD.
2018年4月 稼働予定
（エラストマー）



増設

PT. RIKEN INDONESIA
2018年8月 稼働予定（塩ビ）





ACT NOW!
OCT TOGETHER!

海外事業戦略

品質と開発力(意匠・機能)

⇒ 顧客ニーズへの対応

コスト、納期対応

⇒ 海外(アジア)生産

ターゲット市場

ターゲット市場の見直し

<成熟市場から成長市場へ>

⇒ アジアの住宅建材市場へ

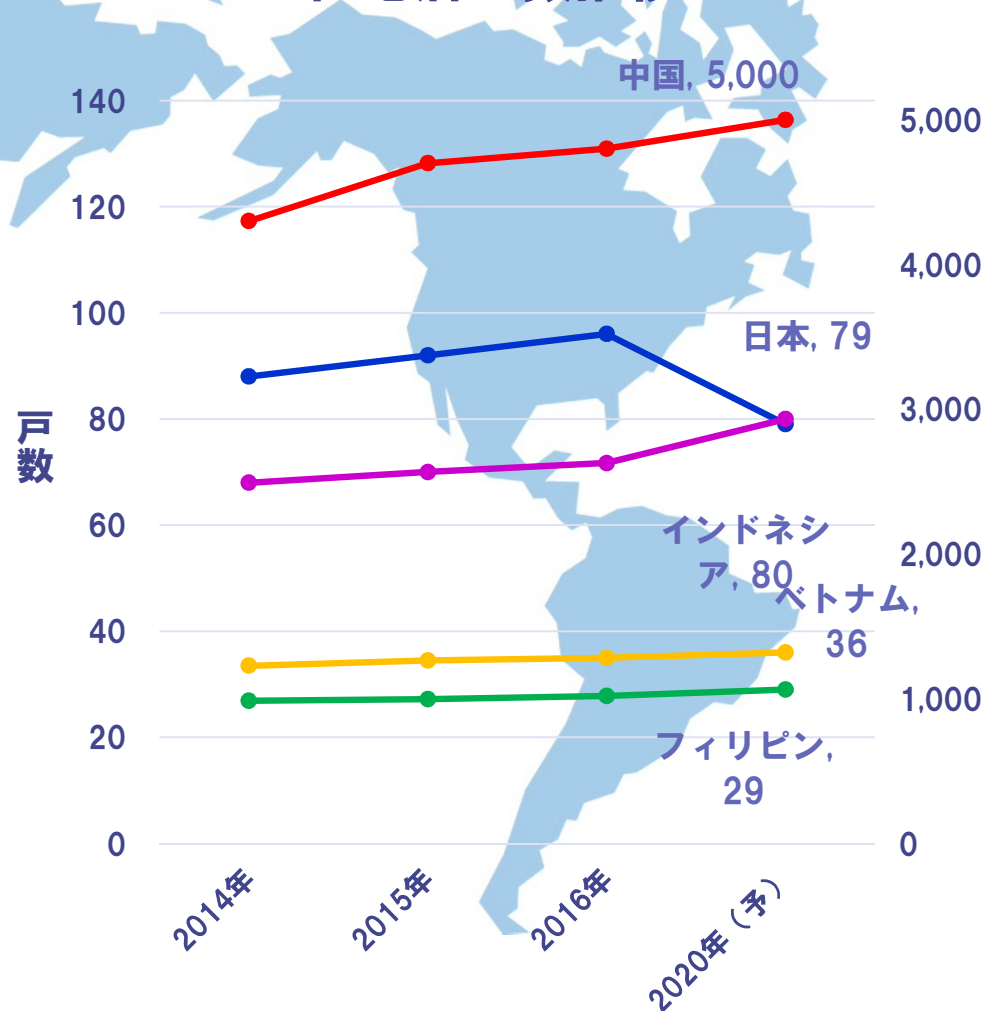
売上高目標（アジア）

2019年3月期

11億円

アジア住宅市場動向

住宅着工数推移





ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

海外拠点との協業による(戦略市場)拡販とグローバルネットワーク構築

未開拓・未進出地域の市場調査と非日系メーカーへの拡販

革新的な生産体制の創造

2017年3月期

2018年3月期

2019年3月期

アジア

ベトナム 塩ビ
新設工場稼働開始

中国 塩ビ 増設ライン
稼働開始

中国 華南地区
事務所設立

中国 華南地区
市場調査

タイ エラストマーライン 増設

タイ 塩ビライン 増設

タイ 医療用塩ビライン
増設検討

医療用
塩ビライン 増設

インドネシア
生産性改善設備導入

インドネシア塩ビライン 増設

アジア フィルム市場調査

フィルム海外生産拡大

北米

米国 塩ビ新設
ライン稼働開始

北米統括会社設立

米国 塩ビライン
増設検討

塩ビ
ライン 増設

コモディティ市場調査

米国 エラストマーライン
増設検討

エラストマー
ライン 増設

海外売上高
比率(実績)
45.4%

海外
売上高
比率

**55%
以上**

事業戦略

アジア・北米市場における
圧倒的な存在感の確立



- ◆日系W/Hメーカーの新規案件獲得
- ◆内外装材、アジア・北米にて採用拡大
- ◆新製品（機能部品、EV充電ケーブル）開発
- ◆非日系顧客向けビジネス開拓

市場動向(予測)

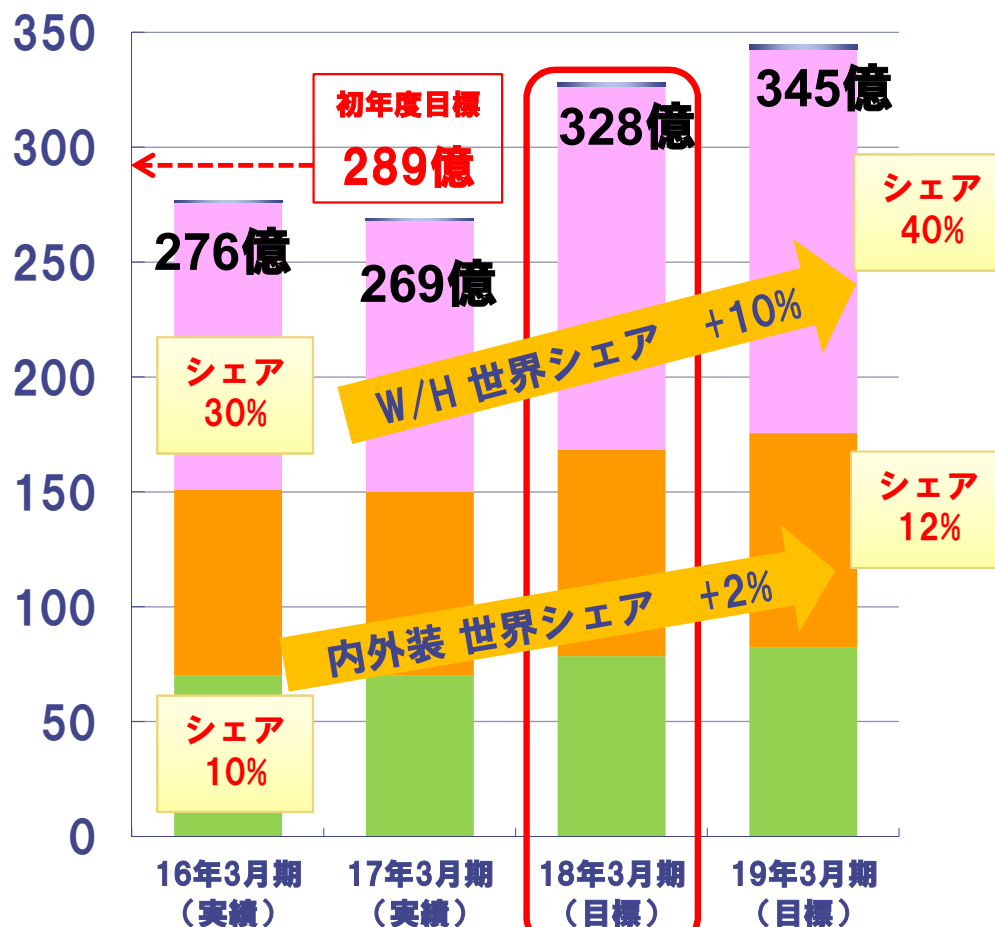


売上高目標

2019年3月期：+69億（目標） 25% UP (2016年3月期比)

売上高（億円）

- 内外装部材（国内）
- 内外装部材（海外）
- W/H
- フィルム

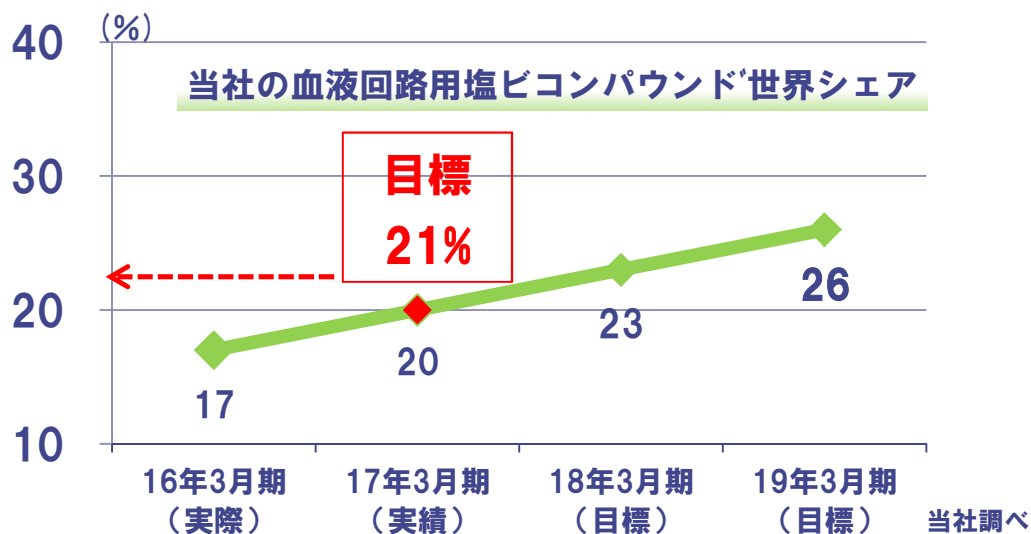




ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

事業戦略

グローバル拠点と協業し、アジア市場を凌駕
医療分野グローバルシェアアップ



新市場参入計画

医療用フィルム市場参入

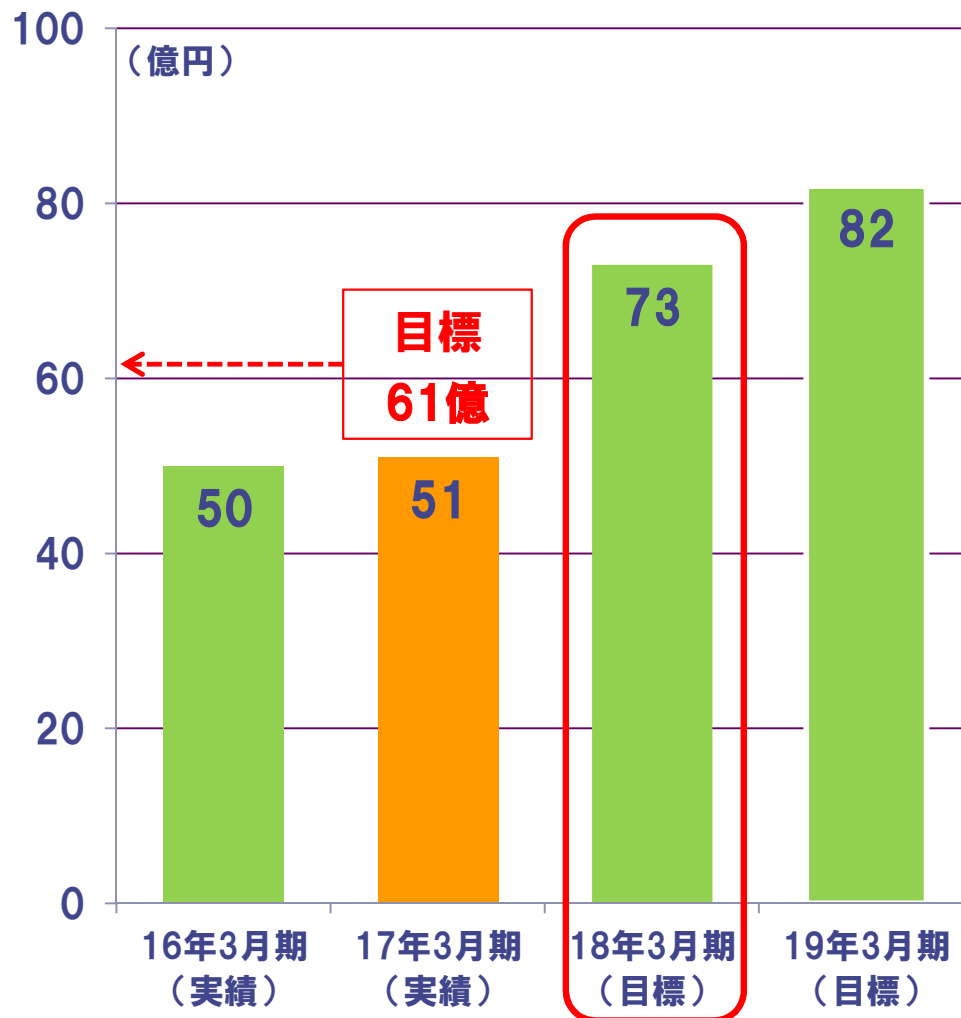
非日系（欧州・中国）メーカーへの参入

医療用栓体製品の新規採用による販売増加

抗ウィルス製品の市場投入

医療用売上高目標

2019年3月期：+32億（目標） 64% UP (2016年3月期比)





事業戦略

国内医療用栓体、ゴムからエラストマーへ

機能

コストダウン

環境対応

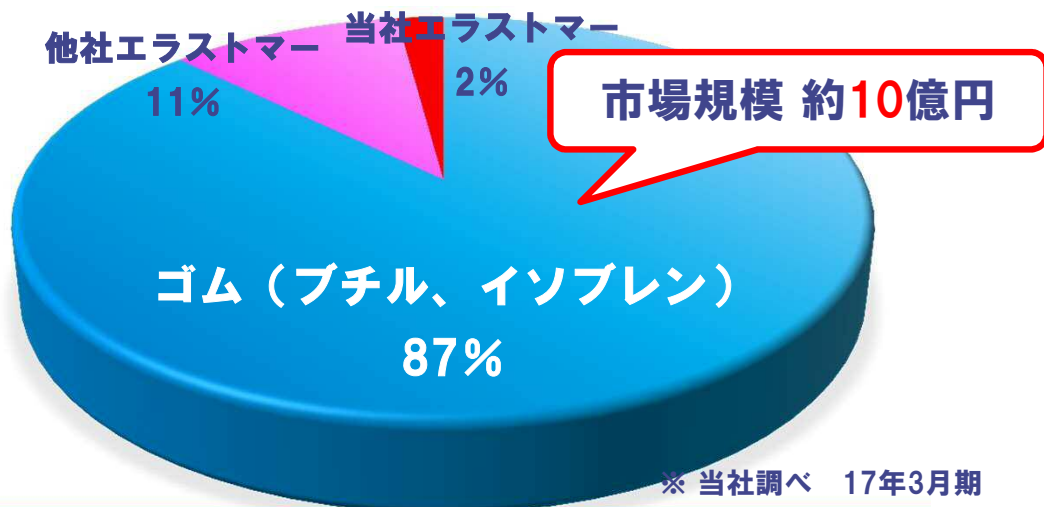
ガスバリア性

工程簡素化

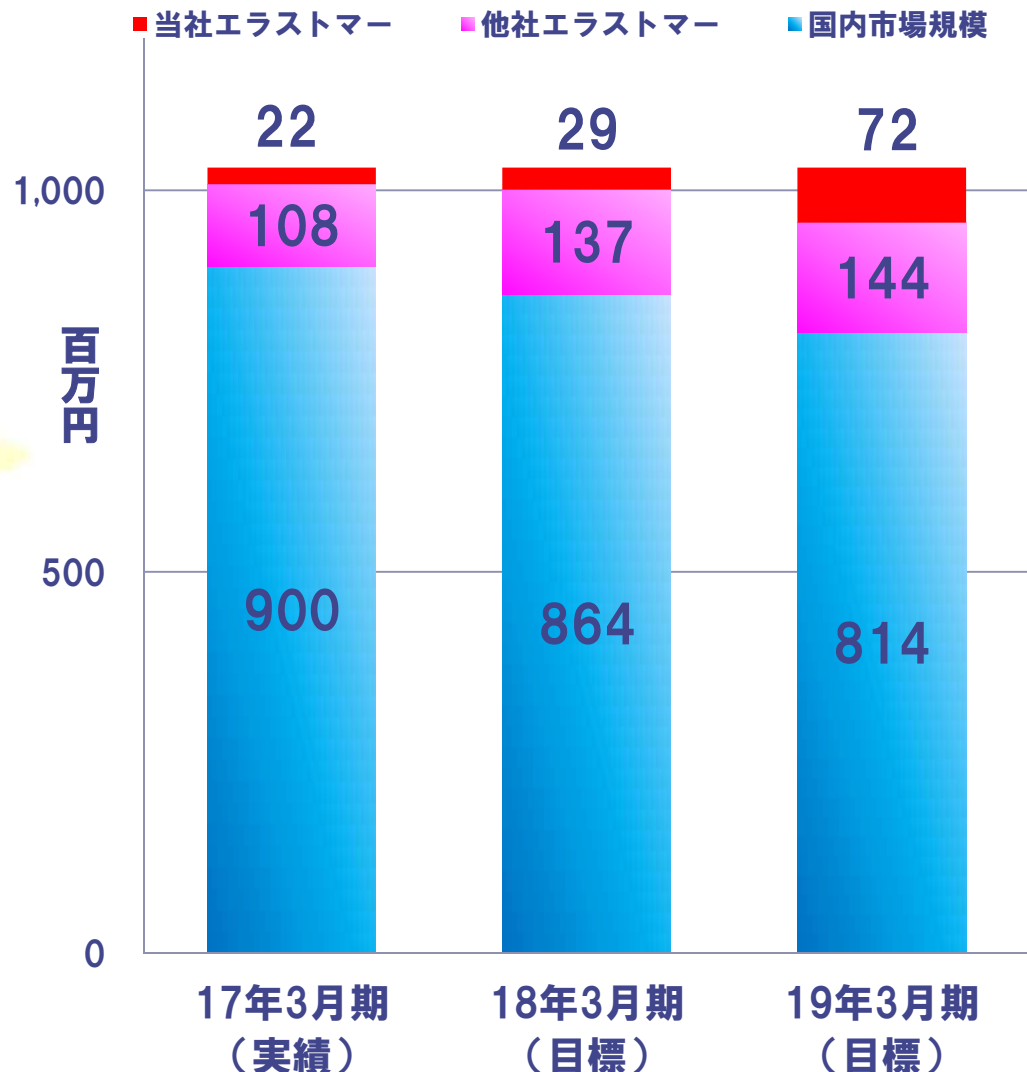
リサイクル

エラストマー化へ

国内医療用栓体市場規模



国内医療用栓体への参入計画



※ 当社調べ 25



事業戦略

- REPTY®DC100の優位性を生かした未来製品創出
- REPTY®DC100の多様な市場展開

タッチパネルの市場動向

2017年度(出荷台数予測)

※出典：富士キメラ総研

用途	ガラス面積	比率	ガラス売上
smart phone	17,046千㎡	56.9%	709億円
tablet	6,586千㎡	22.0%	271億円
note PC	1,630千㎡	5.4%	61億円
車載	772千㎡	2.6%	42億円
モニター	1,094千㎡	3.6%	46億円
その他	2,706千㎡	9.0%	146億円
計	29,969千㎡	100%	1,275億円

DC100機能の拡張

- 反射防止タイプ、防眩タイプ、耐スクラッチ
- 耐候性強化、ガスバリア性付与
- 3次元成型タイプ、抗菌、抗ウイルス

商品採用例

モバイル関連実績

tablet市場

国内外大手モバイルメーカー

Smart phone市場

国内外大手モバイルメーカー

イノベーション創出

商品展開例

IoTは
全分野の垣根を超える



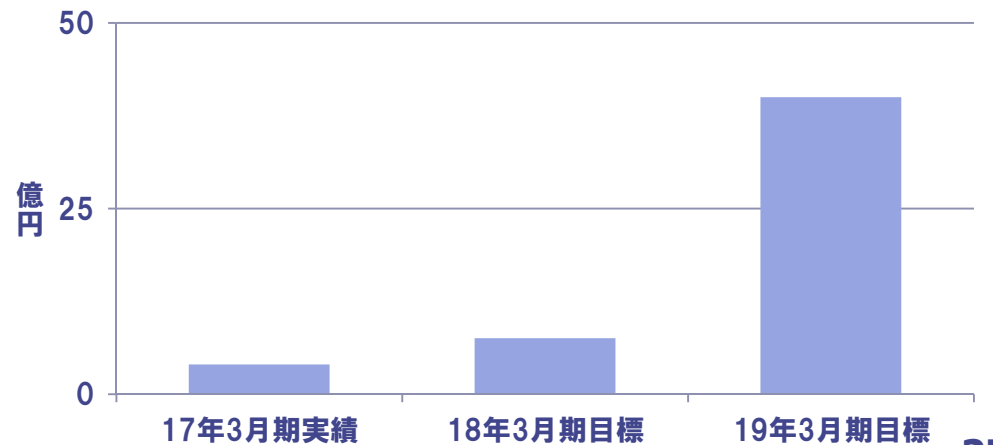
「安全で・美しく・軽量の樹脂素材」を
IoT時代の生活の全ての空間を快適に！

◆3次元成型タイプ
(車載用、カーナビ)

◆耐候性 (UV・熱遮蔽)
車両用



売上高目標



事業戦略

塩ビ化の推進



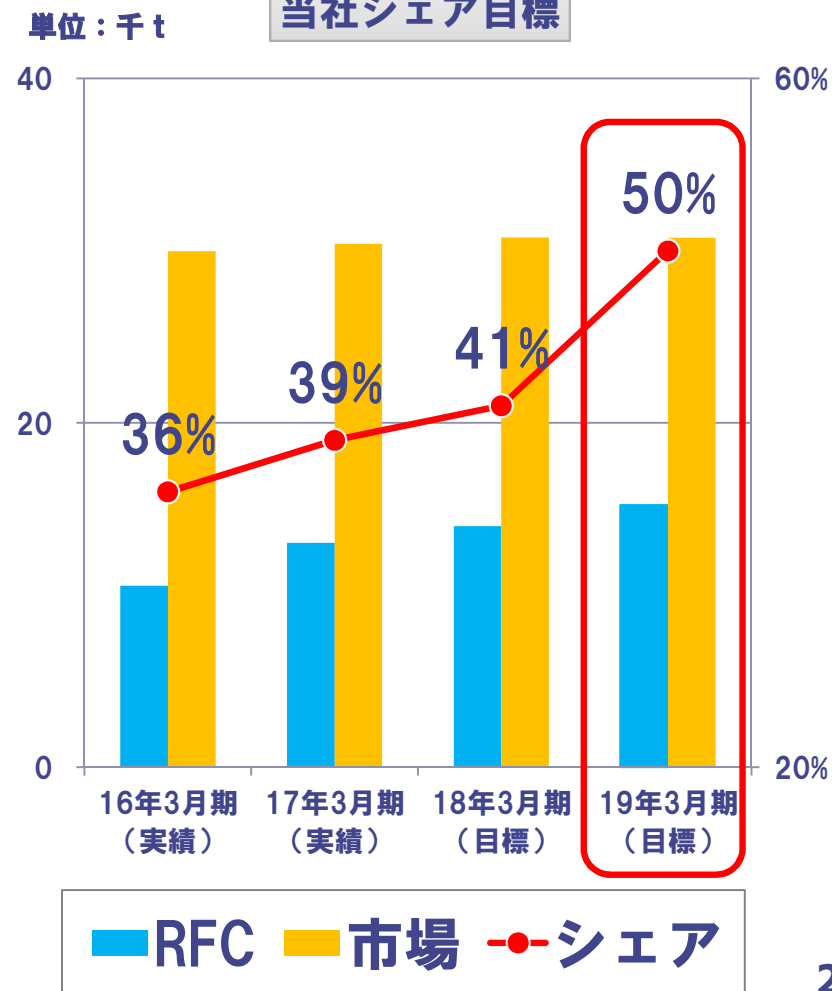
非塩ビ市場に対して塩ビの安全性・優れた包装適性を積極的に訴求をする。



「業務用塩ビラップ」の拡販

業務用塩ビラップ市場

市場数量推移と
当社シェア目標



グローバルで勝ち続けるための高い競争力の構築

世界同一高品質・安定供給の実現



データベース
一元管理

生産
データ

設備
データ

品質
データ

最適設備
の追求

新しい
「ものづくり」
概念の注入

スマート
ファクトリー化



3年間での設備投資合計：160億円（国内：73億円、海外：87億円）

単位：億円 ※メンテナンスを含む。

年度	主な設備投資	総額	減価償却費	研究開発費
2017年3月期 (実績)	中国塩ビ増設 米国塩ビ増設 ベトナム塩ビ新設	44	32	13
2018年3月期 (計画)	フィルム設備導入 インドネシア塩ビ増設 タイエラストマー増設	47	32	13
2019年3月期 (計画)	タイ塩ビ増設、インドネシア塩ビ増設、 タイエラストマー増設 食品包材設備導入	69	35	14

連結配当性向30%程度を一つの目途

安定配当

(円)

	中間	期末	通期	年間配当性向 (連結)	純資産配当率 (%)
2015年3月期	4.00	5.00	9.00	28.4	1.4
2016年3月期	5.00	5.00	10.00	24.1	1.5
2017年3月期 (予定)	5.00	6.00	11.00	24.0	1.6
2018年3月期 (予想)	6.00	6.00	12.00	23.2	-

配当方針：連結配当性向30%程度を一つの目途とした上で、今後の事業投資・自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行う

※2018年3月期（予想）における配当性向及び純資産配当率は、3月末現在で把握可能な数値にて試算しております。

自己株式取得（2016年10月24日決議）結果

<取得理由>

機動的な資本政策の遂行と資本効率の向上

<取得に関する内容>

取得した株式の総数 : 2,229千株

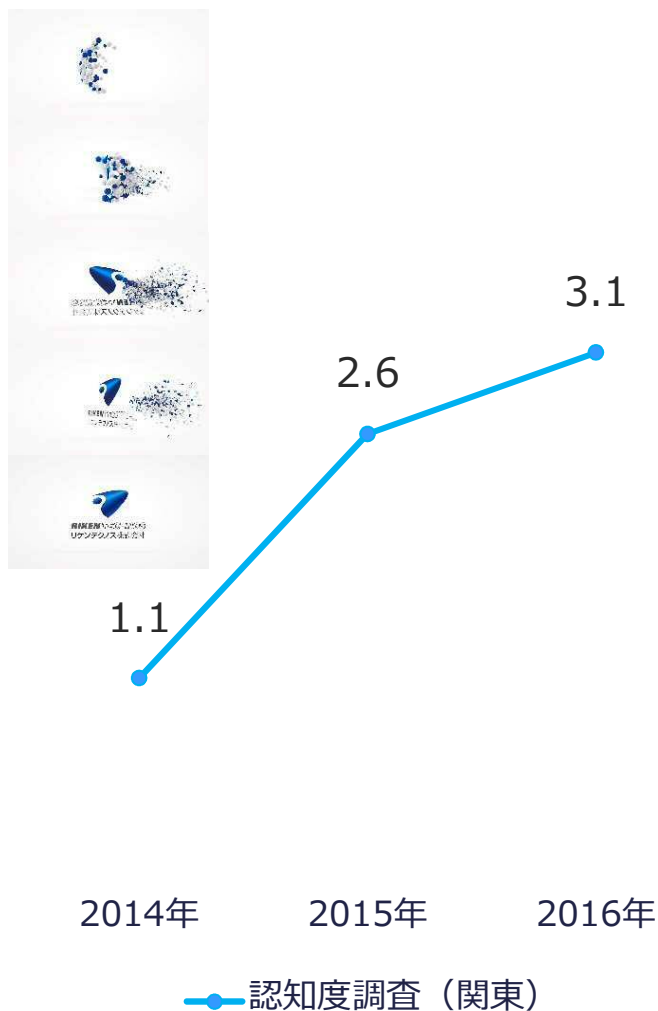
(2017年3月末自己株式数 : 8,079千株)

株式の取得価額の総額 : 1,218百万円

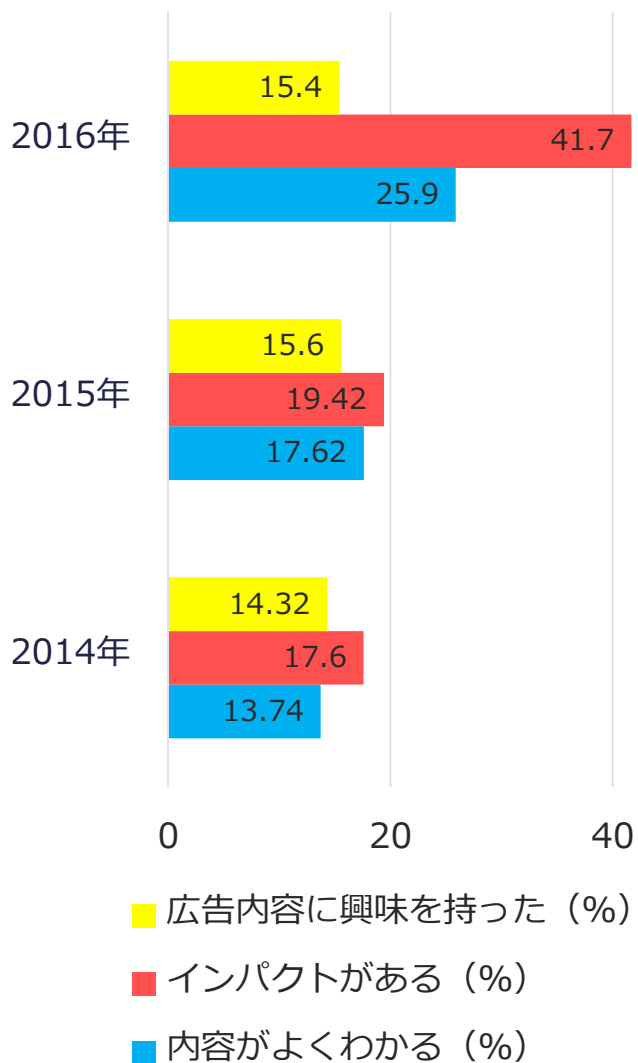
取得期間 : 2016年11月1日～2017年3月31日

TV CMによる企業認知度推移

(%) (TBS「もうすぐサンデー」)



「日経ビジネス」広告評価



「夢らぼ」効果



Facebook
リーチ数
12万件以上

「いいね！」
2,000件以上

届けたい層への適切な
広報を実施。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 高見